



発行日 / 2022年2月1日

編集・発行 / 海外交流事業協同組合

TEL : 011-792-1911

FAX : 011-792-1913

<http://kaijikyo.com/index.html>



～北海道の冬の暮らし～

- ✓ 外気温が -4°C 以下になったとき
- ✓ 一日中氷点下気温の「真冬日」
- ✓ 旅行等で長期間家を空けたとき
- ✓ 建物が古い・・・

水道凍結に注意!! 数百万円の賠償も!?

水道が凍結するとどうなる?

- ・ 水道管内の水が凍り、水が出なくなります。キッチン、風呂、給湯器、トイレ、洗面所、洗濯機、家じゅうの水が使えなくなることもあります。
- ・ 水道管が破裂します。水漏れによって自分の家財道具が水浸しになったり、2階以上に住んでいる場合は階下にも被害が出るかもしれません。さらに家主への賠償も合わせると数百万円の損害が出ることもあります。



新型コロナウイルスの影響で給湯器が入手困難! ? お湯が使えない! ?

ベトナムで昨年7月から新型コロナに伴うロックダウン（都市封鎖）が実施された影響で、部品工場が稼働できなかったため、給湯器が入手困難になっています。

ロックダウンは解除され工場は再稼働しましたが予約していた人を優先しているため、今から注文しても納品は数か月先になる見通しです。

今年の冬はより一層の注意が必要です。



アンケート調査から見えてくる？ 技能実習生の実態（2）

2021年2月に出入国在留管理庁から
「在留外国人に対する基礎調査報告書」が公開されました。

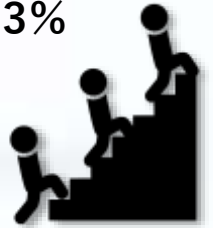
「技能実習生」はどんな回答をし、
この調査から何がわかるのでしょうか？
(この調査対象に「特定技能外国人」は
含まれていません。)

今月のキーワード 「来日前」

Q1

日本に来た理由は？

- ①スキル獲得・将来のキャリア向上のため 46.3%
- ②お金を稼ぐ・仕送り（送金）のため 45.6%
- ③その他 6.1%
- ④勉強のため 2%



Q2

日本に来る前に得た情報は？（複数回答）

- ①基本的な日本語（あいさつなど） 85.7%
- ②日本での仕事の内容（就労環境） 57.8%
- ③日本での生活習慣 55.8%
- ④日本への入国までの手続きや流れ 55.1%
- ⑤日本の物価・生活費・賃金 51%



Q3

日本に来るまでに得られたらよかった情報は？

- ①日本での仕事内容（就労環境） 52.4%
- ①日本の会社の仕組み・習慣 52.4%
- ③日本の住まい・住居の仕組み 51.7%
- ④日本での生活習慣 49%
- ⑤日本の物価・生活費・賃金 44.9%



Q2「来日前に得た情報」とQ3「来日前に知っておきたかった情報」の回答に差があります。技能実習生はおおよそその仕事内容を理解して来日するはずですが、日本の会社の仕組みや働き方、日本特有の仕事に対する考え方、さらに住環境の知識を得るまでには至らないので、実習が始まってから驚くことがあるのかもしれません。

このような技能実習生のニーズと現状のギャップを埋めていくことも我々受ける入れ側の大事な仕事のひとつだと感じました。

「特定技能」

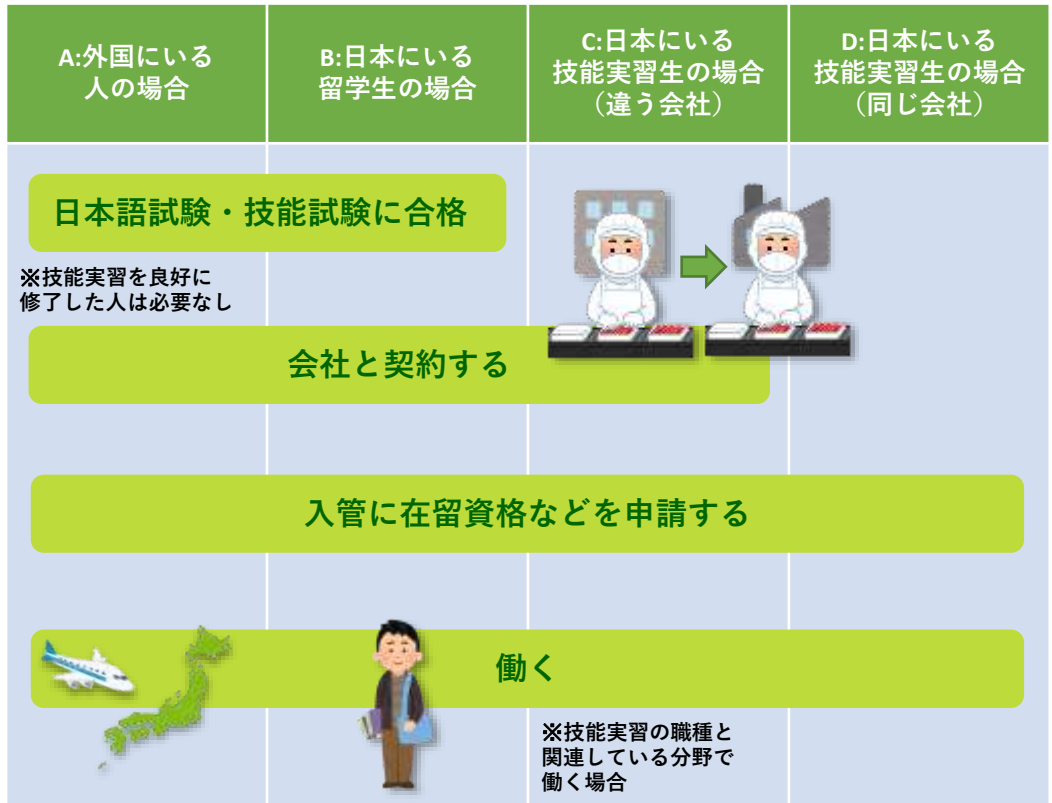
の基礎知識(2)

どうやったら働けるか

特定技能1号の在留資格で働くためには、日本語試験と技能試験を受けて合格する必要があります（技能実習2号を良好に修了した人※は試験の合格は必要ありません。ただし、別の分野で働く場合には、働きたい分野の技能試験に合格する必要があります）。その後、会社と契約を結べば、特定技能の在留資格を申請することができます。

※2号で1年10か月以上の在留が必要

働くまでの流れ



次回は「会社から受けられる支援」についてお届けします。

「特定技能」についてもっと知りたい方はこちら↓
特定技能総合支援サイト（外国語対応）
<https://www.ssw.go.jp/jp/>



特定技能制度・技能実習制度に係る 法務大臣勉強会

法律事務所だより

2022年2月

あお葉法律事務所
弁護士 伊藤 絢子

年明け早々の新型コロナウイルス感染急拡大により、入国を待つ技能実習生の入国が叶わない事態が続いています。

他方、法務大臣は、「特定技能制度・技能実習制度に係る法務大臣勉強会」を設置することを発表しました。今後、特定技能、技能実習の実施状況についての情報収集や分析を進めることと並行して、制度の在り方について多角的観点から検討を進めるとしています。

法務大臣は、年頭所感でも、技能実習制度には本音と建前の使い分けがあるとの意見に向き合う必要性に言及しながら、技能実習や特定技能について、「この際、大胆に見直し作業に取り組みたい」と発言しています。

新型コロナウイルスの出現により世界が大きく変容する中で、国際的な動向も見つめつつ、来日する方々と受け入れる地域社会の双方にとって魅力ある制度をどのように作り出すかが問われるでしょう。勉強会の動向に注目したいと思います。